



6月定例会 一般質問

10人から11問 行政に問う

高齢者助成

町 循環バスの運行改善と高齢者助成を
土曜日は土曜日の試行運行後に協議検討、助成は考えていない



向田 清一 議員

近隣の自治体でも土曜日の実施をしているが、本町での実施は。

町長 土曜運行を実施することにより更なる財政負担が増加する。運行を希望するご意見が多いことや生活手段としておられる方への配慮で試行運行を7月から実施するよう地域公共交通会議、循環バス検討委員会で協議する。

議員 勿条・中村・植田三丁目のバス乗り入れは。

町長 歩行者、循環バスが安全に通行できる経路でなければ実施は難しい。町民の方々のご意見・ご要望をお聞きし運行改善に努める。

議員 近隣の自治体は右回り、左回りの交互運行で時間口スを改善しているが。

町長 地形や人口規模、道路の形状の違いで比較はできない。バスの運行便数の違いなどもある。子供や高齢者に分かりやすい経路となっている。町民の方々のご意見・ご要望をお聞きし利便性の向上に努める。



無料化に期待

議員 70歳以上の高齢者の無料化と障害者、非課税世帯への無料化は。

町長 今年度も2000万円以上の赤字が予測されることから無料化を実施すると更に財政を圧迫し、他の重要施策に影響を及ぼす恐れがある。持続可能な運営を行うためにも応分の負担をもらうことが基本で無料化の考えはない。

バス一部延伸

町 循環バス運行コースの一部延伸を
地域公共交通会議などで検討する



末吉 克巳 議員

鯛尾の停留所を鯛尾集会所前にも一つ設置しては。

町長 ら、歩行者や循環バスが安全に通行できる経路でなければ、実施は難しい。路線の延伸についても、所要時間の増につなげるため、今後も慎重に検討する。

議員 今後、坂駅南口方面にバスが通る予定は。

町長 現在、県道坂小屋浦線や、その側道線、また、町道浜田中洲線の道路拡幅工事が進んでいる。今後、道路状況や通行形態を含め、坂駅南口周辺のまちづくりを考慮したうえで、地域公共交通会議などにおいて、運行ルートへの延伸を検討する。

バス運行改善

町 循環バス土曜祝日運行を
循環バス検討委員会などで協議する



池脇 雅彦 議員

土日祝日の運行について、これまでの検討経過は。

議員 現行の運行ベースに土日祝日の運行を加えた場合の予算増は。

町長 令和5年度の予算では、収支でマイナス約2035万円の赤字が出る計算である。これに土日祝日の運行を加えると、収支的にマイナス900万円とさらに赤字が膨らむ。

議員 土日祝日の運行について、各種方策を講じれば、将来、運行が可能であると思うが。

町長 土日祝日の運行にかかる経費によって、更なる財政負担が増加することに対して懸念している。しかし、生活の移動手段とする住民への配慮は必要である。

まずは、7月から試行的に土曜日の運行をするよう循環バス検討委員会などで協議する。

町長 現在、横浜・北新地線で使用しているバスの車幅は2.1m、長さは7mである。それに対し、鯛尾集会所前の道路幅員は5.8mであり、対向車や、歩行者と循環バスとが支障なく通行できると思われるが、集会所より南西方向先は3mの幅しかなく車両を安全に転回できない。



運行コースの一部延伸を

町長 平成15年度の運行開始時には、土日祝日の運行を行っていた。その後、主な財源にあたるバス利用料や、県補助金が年々減少し、運営経費の赤字が続いた。このため、循環バス検討委員会などにおいて検討し、継続的な運営を行うために、平成30年度から現在の平日のみの運行とした。



土日祝日運行に期待